

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（体育）						授業形態		
科目コード	750098	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	宮内 孝								
授業概要	<p>この授業では、小学校における体育・保健指導のあり方について、学習指導要領を通して理解を深めながら、よりよい体育の授業が構成できることを目標とします。</p> <p>体育科の目的・目標や各領域の小学校6年間の系統性について、理解を深めます。この理解をもとに、よりよい体育授業のあり方について考えながら、授業構成が実際にできるようにします。</p> <p>授業者は、小学校教諭として体育授業はもちろん他教科の授業にも取り組んできました。この実践を通して得た知見を、体育の授業構成の解説や模擬授業指導に活用して、本授業の学修が深められるようにします。</p>								
関連する科目	体育を履修していることが望ましい。								
授業の進め方 と方法	事前課題を使って授業を進めます。グループワークを通して課題解決に取り組みながら、当該時間の学習内容が主体的に習得できるようにします。また、体育授業の動画を用いて、教材やよりよい体育授業のあり方の理解を深めます。								
授業計画 【第1回】	1. 小学校体育科の目標について 小学校体育の目標と学習内容、その学習内容の習得を図る教材などについて、テキストや具体的な教材例をもとに、グループワークを通して考えます。								
授業計画 【第2回】	2. 小学校体育の運動領域と年間計画 小学校体育の目標と学習内容、その学習内容の習得を図る教材などについて、テキストや具体的な教材例をもとに、グループワークを通して考えます。								
授業計画 【第3回】	3. 体育学習における教材と教材づくりについて 小学校体育の目標と学習内容、その学習内容の習得を図る教材などについて、テキストや具体的な教材例をもとに、グループワークを通して考えます。								
授業計画 【第4回】	4. 体育学習における教材と単元計画について 小学校体育の目標と学習内容、その学習内容の習得を図る教材などについて、テキストや具体的な教材例をもとに、グループワークを通して考えます。								
授業計画 【第5回】	5. 各運動領域の授業づくりのポイント 体づくり運動系領域 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第6回】	6. 各運動領域の授業づくりのポイント 器械運動系領域 マット運動 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第7回】	7. 各運動領域の授業づくりのポイント 器械運動系領域 跳び箱運動・鉄棒運動 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第8回】	8. 各運動領域の授業づくりのポイント 陸上運動系領域 走り幅跳び・走り高跳び 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第9回】	9. 各運動領域の授業づくりのポイント 陸上運動系領域 短距離走・リレー 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第10回】	10. 各運動領域の授業づくりのポイント 水泳運動系領域 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								
授業計画 【第11回】	11. 各運動領域の授業づくりのポイント ボール運動系領域 ネット型・ベースボール型 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。								

授業計画 【第12回】	12. 各運動領域の授業づくりのポイント ボール運動系領域 ゴール型 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。
授業計画 【第13回】	13. 各運動領域の授業づくりのポイント 表現運動系領域 各運動領域の学習内容と小学校6年間の系統性について、テキストや典型的な教材を取り上げた模擬授業の実践を通して考えます。
授業計画 【第14回】	14. よりよい体育授業とは よりよい体育授業の条件 よりよい体育授業づくりのためには、直接的な要因だけではなく他の要因もかかっていることを考えます。
授業計画 【第15回】	15. よりよい体育授業とは 学級経営の充実と体育授業 よりよい体育授業づくりのためには、直接的な要因だけではなく他の要因もかかっていることを考えます。
授業の到達目標	1. 小学校体育科の目標・内容について説明できる。 2. 各運動領域の6年間の系統性を踏まえて、よりよい体育授業の授業構成ができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の時間の学習内容について提示します。その学習内容について、調べておいて下さい。
授業時間外の学修 【復習】	授業後は、授業で提示した教材と関連した教材を文献などで調べておいてください。
課題に対する フィードバック	模擬授業実施前後に、口頭で個別に解説します。
評価方法・基準	定期試験70点、模擬授業30点
テキスト	「初等体育授業づくり入門」(1700円+税)岩田康・吉野聡・日野克博・近藤智靖編著
参考書	「小学校学習指導要領解説 体育編」文部科学省
備考	